

「精神科治療学」23巻1号（2008年1月発行）掲載
新連載「精神科医のためのインターネット利用ガイド」
第1回 総論（小原圭司）
関連記事

【フリー暗号化ソフト「アタッシュェケース」の入手法・使用法】

（1）「アタッシュェケース」の入手法、インストールの方法

「アタッシュェケース」は、以下の URL からダウンロードできる

<http://homepage2.nifty.com/hibara/software/index.htm>

- 1) このページから、「アタッシュェケース」と書いた青い字をクリックする。
- 2) そこで現れた画面で、「自己解凍インストーラ付き」の右にある、atcs257.exe（数字などは今後少し変わる可能性がある）と書かれた青い字の所をクリックする。
- 3) すると、「ファイルのダウンロード—セキュリティの警告」の画面が出るので、「実行」を押す。すると自動的にダウンロードが始まる。
- 4) ダウンロードが終わると、「セキュリティの警告 発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」という警告がでるので、「実行する」ボタンをクリックする。
- 5) 『「アタッシュェケース」をインストールします。「次へ (N)」を押してください。』という画面が出るので、「次へ (N)」をクリックする。
- 6) 「ファイル先のコピーフォルダーを指定してください」という画面が出るので、そのまま「次へ (N)」をクリックする。
- 7) 「以下の指定でインストールを実行します」という画面が出るので、「デスクトップ上にショートカットを作成する (D)」というところにチェックが付いているのを確認のうえ、「次へ (N)」をクリックする（このショートカットを作成しないと後々面倒なことになるので必ず確認してほしい）。
- 8) 「read me」という書類が自動的に開かれるので、暇があれば一読してほしい。
- 9) 以上で「アタッシュェケース」のインストールは終了である。

（2）「アタッシュェケース」の使い方

- 1) インストールを行えば、デスクトップ上に、「アタッシュェケース」のショートカットアイコン（本物のアタッシュェケースのような絵）ができていないはずである。ここに、暗号化したいファイル、またはフォルダ（ワードファイル、エクセルファイルなど、なんでもいい）をドラッグアンドドロップすれば、暗号化が始まる。
- 2) 実際に、暗号化を試してみよう。適当なワードファイル（test.doc など適当な題名を付けておいて、内容も「テスト」などを書いておけばよい）をデスクトップ上に作成し、それをアタッシュェケースのショートカットアイコンの上にドラッグアンドドロップしてみよう。
- 3) すると、「—パスワード入力—「ファイル/フォルダを暗号化します パスワードを入力してください」という画面が出る。「実行形式出力」のところをクリックしてチェックを付け、「パスワードを入力してください」と書かれたところの下にある細長い長方形のボックスの上をクリックし、そこに自分の好きなパスワードを入力して、「暗号化 (E)」ボタンをクリックする（パスワードは、他人に推測されにくいものにしておくこと。誕生日、電話番号、1～4桁の数字などは避ける。「実行形式出力」にしなくてもいいのだが、「実行形式出力」にしておくと、「アタッシュェケース」がインストールされていない

パソコン上でも、復号化（暗号化を元に戻すこと）ができるので、チェックしておくことを強くお勧めする）。

- 4) すると、「パスワード再確認」の画面が出るので、もう一度、「パスワードを入力してください」の下にある長方形の枠の中をクリックし、そこに、先ほどと同じパスワードを入力して、「暗号化 (E)」のボタンをクリックする。
- 5) 「完了」「暗号化は完了しました」という画面が出るので、「閉じる (X)」ボタンをクリックする。
- 6) 次の画面が出るので、「終了 (X)」のボタンをクリックして終了する。
- 7) すると、元のファイルがあった場所（最初にデスクトップからドラッグアンドドロップしたときはデスクトップ上、または元のフォルダがあった同じフォルダ）に、自分の作ったファイル名と同じ名前のファイル（先ほどの例なら test.exe）ができており、その下に暗号化ファイルと書かれているはずである。
- 8) 以上でファイルの暗号化は終了である忘れずに元のファイルはゴミ箱に置いて、ゴミ箱を空にしておこう（そうしないと暗号化した意味がない）。
- 9) 次に、復号化（暗号化されたファイルを元に戻すこと）ができるか試してみよう。先ほど作った暗号化ファイルの上で、ダブルクリックしてみよう。すると「このファイルは暗号化されています。パスワードを入力してください」という画面が出るので、先ほど使ったパスワードを入力して、「復号化 (D)」のボタンを押してみよう。すると、元の暗号化されたファイルと同じ場所に、復号化されて、読めるようになったファイルが出現しているはずである。忘れずに元の暗号化されているファイルはゴミ箱に置いて、ゴミ箱を空にしておこう（これをしないと、ファイルを修正したりしたときに、混乱の元になる）。

以上で使い方の説明は終了である。お疲れさまでした。

（自分のパソコン上でしか、暗号化・復号化をしないようなら、先ほどの「実行形式出力」のところをクリックしてチェックを付けるという作業はしなくてもいいが、他の人のパソコンで開けなくなったり、あとで自分の別のパソコンで開けなくなったりと、何かとトラブルの元になるので、お勧めはできない）

注) 実際に毎日の作業をするときは、いちいち1つ1つのファイルを作成するごとに、この作業をするのは面倒だろう。1日の作業が終わったところで、暗号化したいファイルを1つのフォルダにまとめて、「作業用ファイル」など適当な名前を付け、フォルダごと、暗号化することをお勧めする。やり方は上記と全く同じである。次に作業する日には、やはり上記と同じ手順で、フォルダごと復号化すればいい。

【便利な使い方】

「アタッシュケース」のアイコンをダブルクリックすると、「アタッシュケース」のソフトが立ち上がる。その、「オプション (O)」をクリックすると「動作設定 (T)」というメニューが出てくるので、そこをクリックすると、動作設定の画面になる。

そこで、「基本」タブのところにある「常に自己実行形式で出力する」や、「削除」タブのところにある「暗号化した後、元ファイルを削除する」「復号化した後、元ファイルを削除する」などにチェックを入れておけば、いちいち毎回クリックしたり、元ファイルを削除したりする手間が省ける。パソコンの使い方にある程度習熟している人は、試してみてください。